

京大異分野融合セミナー

宇宙ビッグデータから読み解く
地球・人間・こころ

太陽活動や、宇宙から降り注ぐ放射線が地球におよぼす影響を探る「宇宙気候学」については、センシングやビッグデータ解析技術の高度化により、大学等において新たな知見が明らかになってきています。また、国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) が「宇宙天気予報」を公開したり、総務省にて「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会」が開催されるなど、宇宙ビジネスを筆頭に様々な場面での利用が期待されています。

本セミナーは、宇宙ビジネス拠点X-NIHONBASHIを舞台に、次のような研究を進める新進気鋭の2名の研究者から、それぞれの研究内容について紹介します。

- 宇宙環境と過去・現在・未来の地球環境の変動との関係性を解明
- 宇宙環境、地球環境の変動等から、人の疾病の発症・増悪やこころの動きを予測

あわせて、会場からの質問にも対応しながら、「宇宙気候学」、「宇宙天気予報」の可能性について議論することとしています。

宇宙気候学、宇宙ビジネスにご関心のある方はもちろん、新規事業開発などをご検討されているビジネスパーソンの方など、是非お申込みください。

日時 2023/3/8 水 18:00～19:45

方式 対面のみ

会場 宇宙ビジネス拠点 X-NIHONBASHI

定員 50名程度

参加費 無料

申込・詳細 <https://www.kyodai-original.co.jp/?p=17632>

申込期限 2023年3月6日(月)17時まで



プログラム

18:00-18:05 イン트로ダクション

京都大学大学院医学部附属病院
先端医療研究開発機構 特定准教授 西村勉

18:05-18:25 「宇宙の天気が気象のリズムに及ぼす影響を読み解く」

武蔵野美術大学
教養文化・学芸員課程研究室 教授 宮原ひろ子

18:25-18:45 「気象要因、宇宙環境要因、大気汚染要因を用いた疾患発症・増悪予測モデルの開発」

京都大学大学院医学部附属病院
先端医療研究開発機構 特定准教授 西村勉

18:45-19:15 ディスカッション

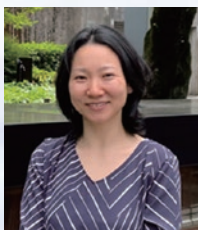
京都大学大学院医学部附属病院
先端医療研究開発機構 特定准教授 西村勉
武蔵野美術大学
教養文化・学芸員課程研究室 教授 宮原ひろ子
会場のみなさま
(モデレータ 西村勉)

19:15-19:45 名刺交換会



西村勉 京都大学大学院医学部附属病院
先端医療研究開発機構 特定准教授

博士(医学)。京都大学大学院医学研究科博士課程修了。(公財)神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターを経て、京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 特定准教授。世界で初めてトカゲの頭頂眼(第3の眼)が磁気センサーである可能性が高いこと及びトカゲの挙尾行動に影響を与える環境要因及び光の波長を同定し報告。トカゲの研究によって、2010年に第25回日本生体磁気学会大会奨励賞を受賞。その後、医療保険データを用いて、環境要因のヒト疾患の発症・増悪への影響について研究を続けつつ、学術指導の立場でベンチャーの事業化に向けた取り組みを進め、ピッチ大会で受賞するなどの実績を積み重ねている。



宮原ひろ子 武蔵野美術大学
教養文化・学芸員課程研究室 教授

名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻博士課程修了。博士(理学)。東京大学宇宙線研究所 米航空宇宙局(NASA)などを経て、武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程研究室教授。専門は、宇宙線物理学、太陽物理学、宇宙気候学。第5回地球化学研究協会奨励賞、平成24年度文部科学大臣表彰若手科学者賞、第1回米沢富美子記念賞。宇宙気候学について解説した著書『地球の変動はどこまで宇宙で解明できるか-太陽活動から読み解く地球の過去・現在・未来』が第31回 講談社科学出版賞を受賞。

『地球の変動はどこまで宇宙で解明できるか: 太陽活動から読み解く地球の過去・現在・未来』

宮原ひろ子 著 化学同人、2014年
(第31回 講談社科学出版賞受賞、2015年)

日々の天気の変化から数億年規模の気候変動まで、地球には様々な変動が見られます。本書では、そういった変動が、どこまで宇宙からの影響で説明できるか、という問いに迫ります。太陽活動や、宇宙から降り注ぐ放射線が地球におよぼす影響を探る「宇宙気候学」の最先端を紹介しています。

